



昭和仮面 麦焼酎に

豊後高田市に新たな土産品。昭和の町を盛り上げる非公認ヒーロー「昭和仮面」をモチーフにした麦焼酎が完成しました。



昭和仮面（左）と麦焼酎を企画した安藤政太郎さん（豊後高田市新町）

豊後高田に新たな土産品

酒店が企画「ヒーローの力でPR」

安藤さんの経営する「龍のタカラバコ」（新町）限定で取り扱う。午前10時～午後5時、月曜日定休。注文も受け付けている。問い合わせは同店（☎0978・22・3960）。

（佐藤章史）

安藤さんは3年前から久保酒蔵（宇佐市長洲）と連携し、独自商品を売り出している。飲み応えのあることと麦の心地よい香りが特長。飲み口もすっきりしている。ラベルには昭和仮面をプリントし、昭和の刑事ドラマ「西部警察」を意識した題字にした。900円以上で1200円。

月光仮面にそっくりな姿で町の宣伝に汗を流す昭和仮面。その誕生日1周年を記念して商品化した。「いつも昭和の町をPRしてくれるので感謝している。麦焼酎でさらに認知度が上がるだろう」と期待する。

【豊後高田】豊後高田市の昭和の町を盛り上げる非公認ヒーロー「昭和仮面」をモチーフにした麦焼酎が完成した。地元で酒店を営む安藤政太郎さん（46）が新たな土産品として企画した。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で町に逆風が吹く中、「ヒーローの力を借りて乗り越える」と話している。

2020年4月20日付
大分合同新聞 11面

① 安藤さんが新たな麦焼酎を売り出した理由は何でしょう？

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で町に逆風が吹く中、

「ヒーローの力を借りて乗り越える」ため。

② 麦焼酎「昭和仮面」の味の特長は？

飲み応えのあることと麦の心地よい香り。飲み口もすっきりしている。

③ 「昭和仮面」は他にどんな活動をしているのか調べてみよう！

昭和の町の案内人を務めたり、メディアに登場して町をPRしたりするなど、

町を盛り上げる活動をしている。